

ANABAS®

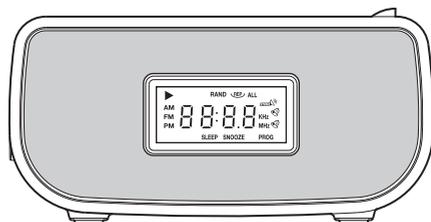
CD クロックラジオ

CD-RC150

取扱説明書

保証書付

保証書に、お買い上げ日、販売店などが記入されていることをご確認ください。



ご使用になる前に

この取扱説明書(保証書付)を最後までお読みのうえ正しくお使いください。

日本国内専用

FOR USE IN JAPAN ONLY

お買い上げいただきありがとうございます。

なお、この取扱説明書(保証書付)は、大切に保管してください。

万一ご使用中にわからないことや不都合が生じたとき、きっとお役に立ちます。

目次

● 安全上のご注意.....	2	● CDの再生順を設定する(プログラム再生).....	16
● 梱包品.....	5	● ラジオの聞き方.....	17
● 各部の名前.....	6	● 受信できる局を探す(サーチ).....	17
● 基本的な使い方.....	8	● よく聞く局を登録する(プリセット).....	18
● 電源を準備する.....	8	● プリセットした局を聞く.....	18
● 時計バックアップメモリ用電池を入れる.....	8	● アンテナを調整する.....	18
● 時刻を合わせる.....	9	● イヤホン・外部入力端子の使い方.....	19
● 機能を切り替える(電源の入・切).....	9	● イヤホンの使い方.....	19
● 音量を調整する.....	10	● 外部入力端子の使い方.....	19
● アラームを設定する.....	10	● お手入れ.....	20
● スリープを設定する.....	11	● 本体のお手入れ.....	20
● 表示部の明るさを変更する.....	11	● 電源プラグのお手入れ.....	20
● CD取扱上のご注意.....	12	● ビックアップレンズのお手入れ.....	20
● CDの聞き方.....	13	● 故障かな?と思ったら.....	21
● CDを初めて使う前に.....	13	● 仕様.....	22
● CDを再生する前の準備.....	13	● 保証とアフターサービス.....	23
● CDを再生する.....	14	● アフターサービスについて.....	23
● 再生モードを選択する.....	15	● 保証書.....	24

● 安全上のご注意

製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐため、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ必ずお守りください。

製品を安全に正しくお使いいただくために、いろいろな絵表示をしています。

その表示と意味は、次のようになっています。

■【記号の意味】

 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	 注意	人がけがをしたり、損害の発生が想定される内容を示しています。
--	---------------------------------	---	--------------------------------

■【本文中に使われている絵表示の意味】

 禁止	 分解禁止	 ぬれ手禁止	 水ぬれ禁止	 指示を守る	 プラグを抜く
--	---	--	--	--	---

⚠ 警告



プラグを抜く

発煙や変なにおいがするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
煙が出なくなるのを確認し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。



プラグを抜く

電源コードが傷んだり、電源プラグが発熱したときは、電源プラグが冷えたのを確認しコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。



確実に差し込む

電源プラグは交流100Vコンセントに根元まで確実に差し込む

交流100ボルト以外を使用すると、火災・感電の原因となります。
差し込みが悪いと、発熱し火災の原因となります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となります。



分解禁止

分解・修理・改造はしない

感電・火災の原因となります。
内部の点検・調整および修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。



禁止

雷が鳴り出したら、アンテナ・電源コードに触れない

野外で使用していて、雷が鳴り出したら、アンテナをまとめて安全な場所に避難する

感電の原因となります。

警告



プラグを
抜く

落としたり、強い衝撃を与えてキャビネットを破損したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。



つぎのこと
を守る

電源コードを取り扱うときは、つぎのことを守る

- 傷つけない
- 延長するなど加工しない
- 加熱しない・引っ張らない
- 重い物を載せない・はさんだりしない
- 無理に曲げない・ねじらない
- 束ねたりしない

守らないと、火災・感電の原因となります。



入れない

機器の上に物を置いたり、異物を入れたりしない

金属類（クリップや針、コインなど）や紙などの燃えやすい物が内部に入った場合、感電・火災の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



水ぬれ禁止

雨天時の屋外や浴室など、水がかかったり、湿気の多い場所に置いたり使用したりしない

火災・感電の原因となります。
降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。



プラグを
抜く

内部に水や異物等が入ったらすぐに電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。



ほこりを
とる

電源プラグの刃や刃の取り付け面にゴミやほこりが付着している場合は、電源プラグを抜き、ゴミやほこりをとる

電源プラグの絶縁低下によって、火災の原因となります。



禁止

次のような場所には置かない

- 風呂場など、水がかかったり、湿気の多い場所
 - 雨、きりなどが直接入り込むような場所
 - 火のそば、暖房機器のそばなどの高温の場所
 - 直射日光の当たる場所
 - 炎天下の車内・ほこり、油煙の多い（調理場など）場所
 - 振動の強い場所
 - 腐食性ガス（亜硫酸ガス、硫化水素、塩素ガス、アンモニアなど）の発生する場所
 - 極端な高温、低温、温度変化の激しい場所
 - ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所
- 火災・感電の原因となります。

注意



禁止

円形ディスク以外は使用しない

円形以外の特殊な形状（ハート型、カード型など）をしたディスクを使用すると、高速回転によりディスクが飛び出し、けがの原因となります。



禁止

ひびわれ、変形、接着剤で補修したディスクを使用しない

高速回転によりディスクが飛び出し、けがの原因となります。

⚠ 注意

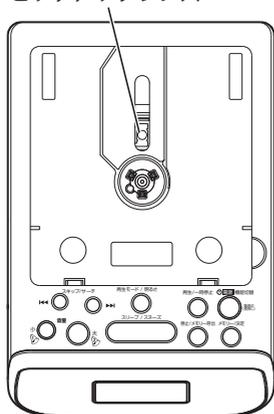


ディスクのピックアップレンズをのぞき込まない

禁止

レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。

ピックアップレンズ



(上図は説明のため、CDドアは省略しています。)

クラス1レーザー製品



機器の上に乗らない

禁止

倒れたり、こわれたりしてけがの原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



ディスクが回転中は手を触れない

禁止

回転中にディスクに触れるとけがの原因になります。



長時間音が歪んだ状態で使わない

禁止

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



長時間で使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜く

禁止

万一故障したとき、火災の原因となることがあります。



持ち運ぶときは、アンテナをまとめ、電源プラグをコンセントから抜く

禁止

けがやコードが傷つき、火災・感電の原因となります。



音量に注意

指示を守る

- 始めから音量を上げ過ぎると、突然大きな音が出て耳を傷つけることがあります。音量は少しずつ上げてご使用ください。
- 電源を切るときは音量を小さくしておいてください。電源を入れたとき、突然大きな音が出て聴覚障害などの原因となることがあります。



通風孔をふさがない

禁止

- 壁に押しつけない(背面10cm、左右側面5cm以上の間隔をあける)
 - 押入れや本箱など風通しの悪い所に押し込まない
 - テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしない
 - じゅうたんや布団の上に置かない
 - あお向け・横倒し・逆さまにしない
- 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因になります。



電源プラグをコンセントから引き抜くときは、電源プラグを持って引き抜く

コードを持って引き抜くとコードが破損し、火災・感電の原因となります。

プラグを抜く

⚠ 注意



指示を守る

結露が生じた場合は、結露がとれてから使用する

寒いところから急に暖かい場所へ移動すると、本機やディスクのピックアップレンズなどに結露が生じる場合があります。この状態で使用すると、正しく動作しなかったり、感電・故障の原因になる場合があります。このような時は電源プラグを抜き、CDを取り出して、1時間ほどその状態で放置し結露がとれてからご使用ください。



指示を守る

乾電池を取り扱うときは、つぎのことを守る

- 単3形乾電池以外の電池は使用しない
- 極性表示⊕と⊖を間違えて挿入しない
- 充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中に入れない
- 乾電池に表示されている「使用推奨期限」を過ぎたり、使い切った乾電池は入れておかない
- 種類の違う乾電池、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しない
- 使い切った電池は、本体から乾電池を取り出す
- 水に濡らしたり、濡れた手で触れない

発熱・液もれ・破裂などにより、やけど・けがの原因となることがあります。もし、液に触れたときは、水でよく荒い流し医師に相談してください。器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

■ 免責事項について

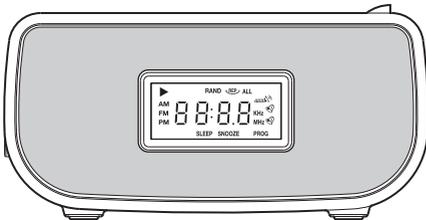
- 地震・雷・風水害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故・お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- この商品の不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償についてはご容赦ください。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

■ 録音について

- 取り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。

● 梱包品

ご使用前に下記の物が梱包されていることをご確認ください。万が一、不足がある場合は、お買い求めになられた販売店または当社のサポートセンターまでご連絡ください。



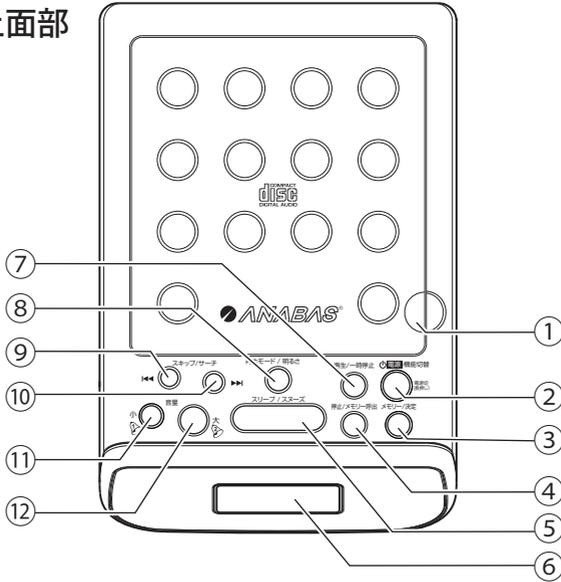
CD クロックラジオ
CD-RC150(本機)



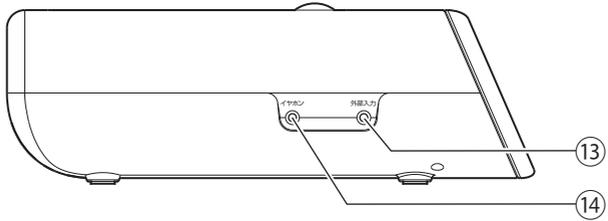
保証書付き取扱説明書
(本書)

● 各部の名前

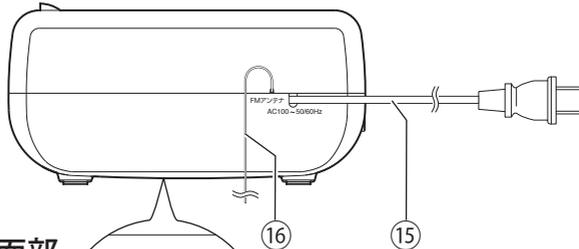
上面部



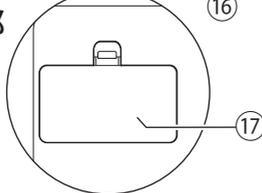
左側面部



後面部



底面部



① CDドアツマミ

CDドアを開閉するときは、このツマミを持っておこないます。

② 電源/機能切替ボタン

本機の電源の入り・切りと入力切替に使用します。

電源を切るときは、長押しします。

③ メモリー/決定ボタン

CD再生のプログラムの開始および設定をします。ラジオのよく聞く局のプリセットの開始および設定をします。

[電源切り時]: 時刻設定の開始および設定をします。

④ 停止/メモリー呼出ボタン

CD再生の停止をします。

ラジオのプリセットした局を切り替えます。

⑤ スリープ/スヌーズボタン

電源を切るまでの時間(スリープ)を設定します。

[アラーム起動時]: アラームの繰り返し(スヌーズ)を設定します。

⑥ 表示部

各機能のそれぞれの状態を表示します。

[電源切り時]: 時刻を表示します。

⑦ 再生/一時停止ボタン

[CD]: 再生と一時停止を切り替えます。

[ラジオ]: FM局のステレオ放送をお聞きのとときに、このボタンを押すとステレオとモノラルの切り替えができます。ステレオ放送でノイズが多い時にモノラルに切り替えるとノイズが少なくなることがあります。

⑧ 再生モード/明るさボタン

長く押して、表示部の明るさを切り替えます。

[CD]: 再生するモードを通常、1曲リピート、全曲リピートまたはランダムに切り替えます。

⑨ スキップ/サーチ◀◀ボタン

[CD]: 前の曲に移動します。長く押すと、再生中の曲の早戻しになります。

[ラジオ]: 周波数が低くなります。長く押すと、連続して周波数が低くなります。

⑩ スキップ/サーチ▶▶ボタン

[CD]: 次の曲に移動します。長く押すと、再生中の曲の早送りになります。

[ラジオ]: 周波数が高くなります。長く押すと、連続して周波数が高くなります。

⑪ 音量小🔊ボタン

音量を小さくします。長く押すと、連続して音量を小さくします。

[電源切り時]: アラーム1の設定・解除およびアラーム1の設定内容の変更を開始します。

⑫ 音量大🔊ボタン

音量を大きくします。長く押すと、連続して音量を大きくします。

[電源切り時]: アラーム2の設定・解除およびアラーム2の設定内容の変更を開始します。

⑬ 外部入力端子

テレビの音声出力端子やスマートフォンのイヤホン端子などを接続すると、本機のスピーカーから接続した機器の音声が出力されます。

※ この端子にプラグが接続されると、自動的に外部入力に切り替わります。プラグが抜かれると、選択されていた元の機器再生に戻ります。

※ Φ3.5mmステレオ端子接続ケーブルは付属していません。

⑭ イヤホン端子

お持ちのイヤホンまたはヘッドホンを接続してください。

※ イヤホンを接続するとスピーカーから音は出なくなります。

⑮ 電源コード

このコードのプラグを交流(AC)100Vのコンセントに差し込みます。

⑯ FMアンテナ

FM放送を受信時には、伸ばして使用してください。

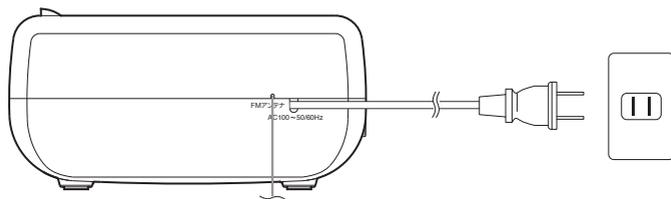
⑰ 電池ケースふた

このふたを外して、時計バックアップメモリ用に単3形乾電池を2本入れます。

● 基本的な使い方

● 電源を準備する

1. 本機背面の電源コードを交流 100V のコンセントに接続します。



※ 濡れた手で電源コードの抜き差しはしないでください。感電のおそれがあります。

● 時計バックアップメモリ用電池を入れる

設定した時刻やラジオの周波数を保存するため、時計バックアップメモリ用電池をお使いください。



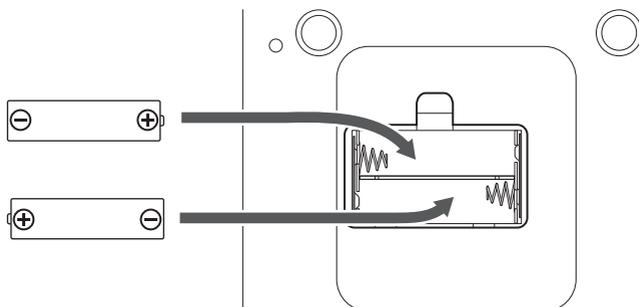
※ 電池は付属されていません。単 3 形アルカリ乾電池を推奨いたします。単 3 形アルカリ乾電池を 2 本お買い求めください。

※ 時計バックアップメモリ用電池が抜かれる、または電池が切れると、電源コードが抜かれた時に設定した時刻やラジオの周波数は初期化されます。

※ 本機は電池のみで使用することはできません。必ず電源コードをコンセントに接続してご使用ください。

1. 本機底面の電池ケースふたを開きます。

2. 単 3 形乾電池の極性を確かめながら、乾電池を 2 本電池ケースに入れます。



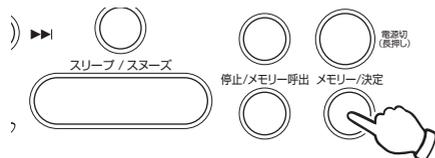
3. 電池ケースふたを閉めます。

●時刻を合わせる

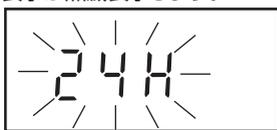
1. 電源が切れていることを確認します。

- 電源が入っていると、時刻を合わせることはできません。電源が入っているときは、【**電源/機能切替**】ボタンを長押しして電源を切ってください。

2. 【メモリー/決定】ボタンを押します。



- 時間表示が点滅表示します。

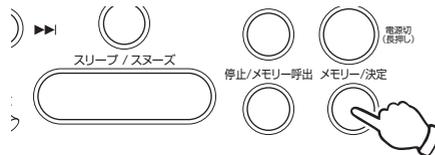


3. 【スキップ/サーチ<<<】または【スキップ/サーチ>>>】ボタンを押して、時間表示を選択します。



- 「24H」を選択すると、24時間表示になります。「12H」を選択すると、12時間表示になります。

4. 【メモリー/決定】ボタンを押します。



- 時間が点滅表示します。

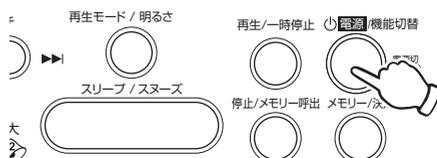


5. 手順3.と4.を繰り返し時間と分を合わせます。

- 分を合わせると、時刻合わせが終了します。

●機能を切り替える (電源の入・切)

1. 電源を入れるには、【**電源/機能切替**】ボタンを押します。

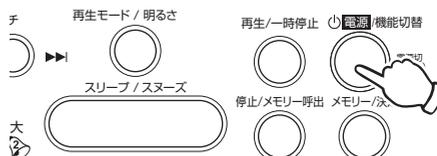


- 電源が入ると、時刻表示から前回使っていた機能の表示変わります。



- 初めてお使いになる時、または初期化された後は、電源を入るとFMが表示されます。

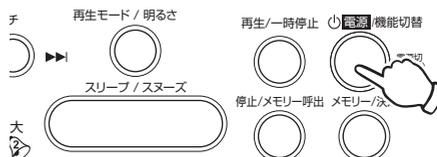
2. 機能を切り替えるには、【**電源/機能切替**】ボタンを何度か押します。



- 【**電源/機能切替**】ボタンを押す度に、機能は以下のように切り替わります。

FM→AM→CD→AUX(外部入力)

3. 電源を切るには、【**電源/機能切替**】ボタンを長押しします。

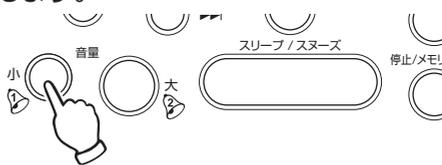


● 音量を調整する

1. 音量を上げるには、【音量大】ボタンを押します。



2. アラームを【音量小】ボタンに設定する場合は、【音量小】ボタンを押します。



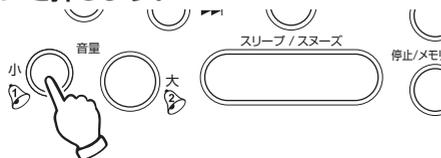
- 時間とアラーム番号 1 が点滅表示します。



※ 音量は徐々に上げてください。特に、イヤホンをお使いのときは、突然大きな音を出力して耳を傷めるおそれがあります。

- 音量は0～30の間で設定できます。
- 【音量大】ボタンを押し続けると、音量を連続して大きくできます。

2. 音量を下げるには、【音量小】ボタンを押します。



- 【音量小】ボタンを押し続けると、音量を連続して小さくできます。

3. 【スキップ/サーチ】または【スキップ/サーチ】ボタンを押して、アラームが起動する時間を設定します。



● アラームを設定する

指定した時刻にラジオ、CDまたはブザーをアラームとして再生できます。アラームは【音量小】または【音量大】ボタンに別々に設定できます。

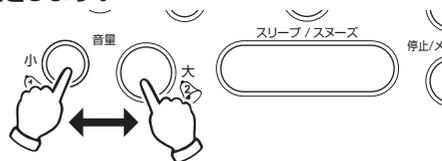
※ 時刻が設定されていないと、アラームを設定することができません。アラームを設定する前に、必ず時刻を設定してください。

1. 電源が切れていることを確認します。

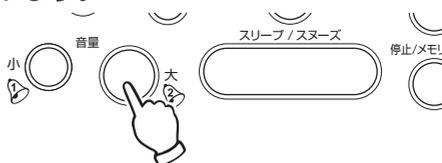
- 電源が入っていると、アラームを設定することはできません。電源が入っているときは、【電源/機能切替】ボタンを長押しして電源を切ってください。



4. 【音量小】ボタンを押して時間を決定します。



- ※ アラームを【音量大】ボタンに設定する場合は、【音量大】ボタンを押して、手順3、4と同様の操作を行います。



5. 手順3.と4.を繰り返して分、アラームの種類、音量を設定します。

- 音量を合わせると、アラームの設定が終了します。
- アラームの種類は以下のように表示されます。

buzz tune cd
(ブザー) → (ラジオ) → (CD)

- 設定した時刻になると、アラームが起動し、設定したアラーム表示が点滅します。

6. アラームを止めるには、アラームを設定した【音量小】または【音量大】ボタンを押すか、【電源/機能切替】ボタンを押します。

7. アラームを解除するには、アラームを設定した【音量小】または【音量大】ボタンを長押しします。

- アラームを解除しても【音量小】または【音量大】ボタンを長押しすると、前回設定した内容でアラームをセットできます。

● スヌーズについて

スヌーズを使うと、一度アラームを止めても再度アラームが起動します。

1. アラームが起動しているときに、【スリープ/スヌーズ】ボタンを押します。



- アラームが止まり「SNOOZE」が点滅表示されます。



- 9分経過すると、再度アラームが起動します。

2. スヌーズを解除するには、アラームを設定した【音量小】または【音量大】ボタンを押します。

- 【電源/機能切替】ボタンを押しても、アラームを止めることができます。

● スリープを設定する

ラジオ、CDまたはAUX（外部入力）を聞いているときに、電源が切れるまで時間を設定できません。

1. 電源を入れ、機能を選びます。

2. 【スリープ/スヌーズ】ボタンを何度か押し電源が切れるまでの時間を選択します。



- 電源が切れるまで時間と「SLEEP」が表示されます。



- 電源が切れるまで時間は、90分間から10分間まで10分間隔で設定できます。

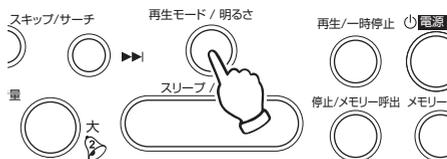
90→80→70→……→20→10→OFF

- OFFを選択すると、スリープは解除されます。
- スリープ設定中に、【スリープ/スヌーズ】ボタンを押すと、約3秒間残り時間が表示され、その後元の表示に戻ります。

● 表示部の明るさを変更する

表示部の明るさを3段階で切り替えることができます。

1. 【再生モード/明るさ】ボタンを何度か長押しし、表示部の明るさを切り替えます。



- 表示部の明るさは、電源の入り切りに関わらず設定できます。

● CD 取扱上のご注意

● 使用できるCDについて



マークの入ったものなど、JIS規格に合致したディスクをご使用ください。

- コピーコントロールCD、特殊形状ディスクなどのCD規格外ディスクを使用された場合には、再生および音質の保障はしかねます。

■ CD-R/RWディスクについて

- この商品は、CD-DAフォーマットで記録されたCD-R/RWディスクを再生することができます。ただし、ディスクおよび記録に使用したレコーダーの状態によっては再生できない場合があります。
- 未記録のCD-R/RWディスクを入れないでください。ディスクの読み取りに時間がかかることがあり、誤って回転中にディスクを取り出そうとした場合、ディスクに傷をつけることがあります。
- MP3/WMA/WMV ファイルを収録したディスクは再生できません。
- VCD (ビデオCD) は再生できません。

※ メディアの種類、録音時の設定 (書き込みスピードなど) によっては再生できないか、音質が著しく悪い場合がありますので、あらかじめご了承ください。

■ 以下のCD、光ディスクは絶対に再生させないでください。

- DVD (音楽DVD含む)
- 音楽CDではないCD (データ記録用のものなど)
- 録音されていないCD-R/RW

※ 上記のものを再生すると大音量でスピーカーが破損、また、お聞きになった方の聴力に障害を及ぼす危険があります。

- 円形以外のCD、CD-R (ハート形、名刺形など)



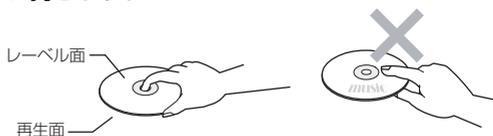
※ 上記のものを再生すると回転時に遠心力が不均等に働き、本体を破損させるおそれがあります。

● CD 取扱上の注意

再生面、レーベル面ともにシールを貼ったり、傷をつけないようにしてください。

■ 持ち方

再生面、レーベル面に触れないよう、図のように持ちます。



■ お手入れの方法

ディスクに指紋や汚れがついた場合は、やわらかい布で放射状に拭き取ります。レコードのように円状に拭かないでください。



※ 市販のCDクリーニングキットを使うとより効果的です。

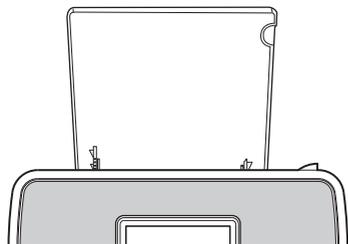
鑑賞し終わったCDは本体に入れたままにせず、ケースに入れて保存してください。

● CDの聞き方

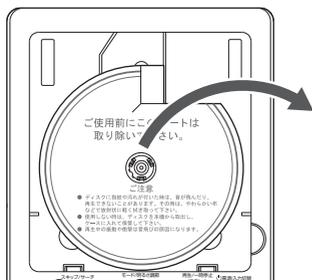
● CDを初めて使う前に

購入時にはCD挿入部にレンズ保護紙が取り付けられています。CDをセットする前に、必ずこのレンズ保護紙を外してからご使用ください。

1. CDドアアツマミを持って、CDドアを開けます。



2. レンズ保護紙を取り外します。



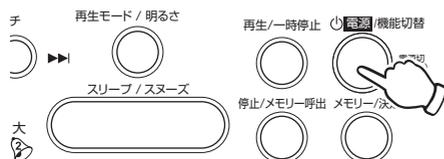
(上図は説明のため、CDドアは省略しています。)



※ ピックアップレンズには触れないよう注意してください。

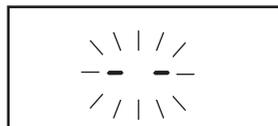
● CDを再生する前の準備

1. [電源/機能切替] ボタンを押し、電源を入れます。



2. [電源/機能切替] ボタンを何度か押し、CDを選びます。

● CDが選ばれると、「-」が点滅表示されます。



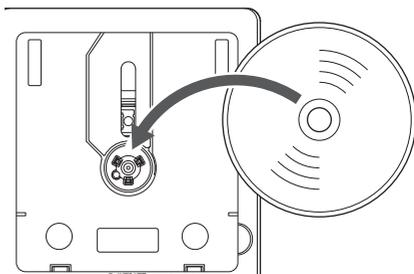
3. CDドアアツマミを持って、CDドアを開けます。

● 「OP」が表示されます。



※ CDドアを開けたときに、CDのピックアップレンズを触ったり、傷付けないでください。CDが再生されなくなることがあります。

4. CDを挿入し、CDドアを閉じます。



(上図は説明のため、CDドアは省略しています。)

● CDの総曲数(トラック数)が表示されます。

CDが挿入されずにCDドアを閉じると、「No」が表示されます。



総曲数(トラック数)

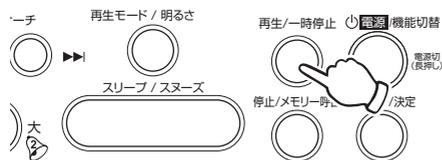


CDが挿入されていないとき

● CDドアは、確実に閉じてください。CDドアが確実に閉まっていないとCDは再生されません。

● CDを再生する

1. [再生/一時停止] ボタンを押します。



- ▶ (再生) 表示と曲の番号(トラック番号)が表示された後に、最初の曲から再生が始まり、再生経過時間が表示されます。



- 曲(トラック)が変わる度に、曲の番号(トラック番号)が表示された後に、再生経過時間が表示されます。
- 最後の曲が再生されると、再生は自動的に終了します。
- CD再生中にCDドアを開けると、CDの再生は停止します。



※ CDドアを開いてCDが回転している間は、CDに触れないでください。けがの原因になります。また、本機やCDの故障や破損の原因になります。

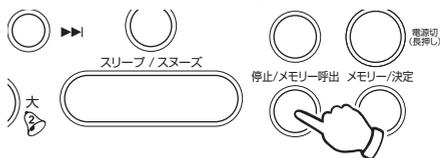
2. 再生を一時停止するには、再生中に [再生/一時停止] ボタンを押します。

- 一時停止中は、再生経過時間が点滅します。



- [再生/一時停止] ボタンをもう一度押すと、再生に戻ります。

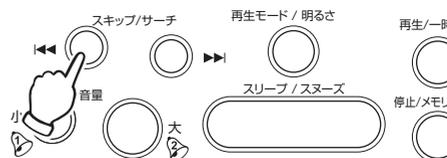
3. CDを停止するには、[停止/メモリー呼出] ボタンを押します。



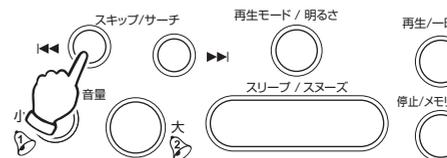
- CDの回転が止まり、総曲数の表示に変わります。
- 再生中に電源コードを抜くと本機の故障の原因となることがあります。必ずCDが停止したのを確認してから電源コードを抜いてください。

● 曲の始めに移動する

1. 再生中の曲の始めに戻るには、[スキップ/サーチ] ボタンを1回押します。



2. 聞きたい前の曲に戻るには、[スキップ/サーチ] ボタンを聞きたい曲になるまで何回か押します。



3. 聞きたい次の曲に進むには、[スキップ/サーチ] ボタンを聞きたい曲になるまで何回か押します。



- 停止または一時停止中に、[スキップ/サーチ] ボタンまたは [スキップ/サーチ] ボタンを押してお好みの曲を選んで再生を始めることもできます。

● 早送り/早戻し再生をする

1. 早送り/早戻し再生するには、再生中に1秒以上【スキップ/サーチ◀◀】または【スキップ/サーチ▶▶】ボタンを押し続けます。



- 早送り/早戻しは、曲を越えて行うことができます。
- 一時停止中も、早送り/早戻しができます。

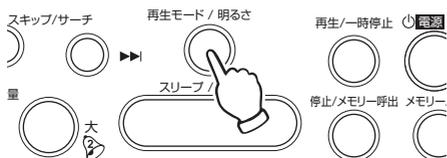
● 再生モードを選択する

本機では以下のような再生ができます。

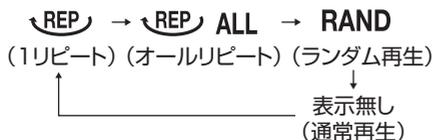
1リピート：再生中の曲を繰り返し再生します。
 オールリピート：CDの全ての曲を繰り返し再生します。

ランダム再生：CDの全ての曲をランダムに再生します。全ての曲の再生が終わると、再生は停止します。

1. 【再生モード/明るさ】ボタンを何度か押し、再生モードを切り替えます。



- 【再生モード/明るさ】ボタンを押すたびに、再生モードが切り替わります。



- プログラム再生中は、ランダム再生に切り替えることはできません。

2. リピートを解除するには、【再生モード/明るさ】ボタンを何度か押し、通常再生にします。

- リピートが解除され、通常の再生に戻ります。
- リピート中に【停止/メモリー呼出】ボタンを2回押しすと、再生は停止しリピートは解除されます。

● リピートについて

- 1リピートでは、再生中は曲の再生が終わると、曲の初めに戻り、再生を続けます。
- オールリピートでは、再生中は再生しているCDのオールリピートが始まります。最後の曲の再生が終わると、CDの初めに戻り、再生を続けます。
- ランダム再生では、再生中は再生している曲からランダムに再生が始まります。全ての曲の再生が終わると、再生は停止します。
- プログラム再生中は、ランダム再生に切り替えることはできません。
- 停止または一時停止中は、【スキップ/サーチ◀◀】または【スキップ/サーチ▶▶】ボタンを押して好みの曲を選んで再生を始めると、選んだ曲で設定したリピートをおこないます。
- リピート中に【停止/メモリー呼出】ボタンを1回押しして、CDが停止してもリピートは保持されます。【停止/メモリー呼出】ボタンを2回押しすとリピートは解除されます。

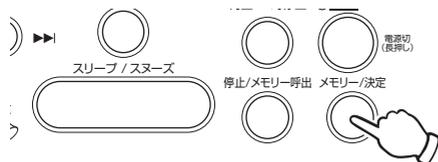
● CDの再生順を設定する(プログラム再生)

CDの曲をお好みの順番でプログラムして再生することができます。

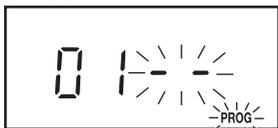
1. 【停止/メモリー呼出】ボタンを押して、再生を停止します。

- 再生中は、プログラムを行うことはできません。必ず再生を停止してください。

2. 【メモリー/決定】ボタンを押します。



- 「01」が表示され、「— —」、「PROG」が点滅表示されます。

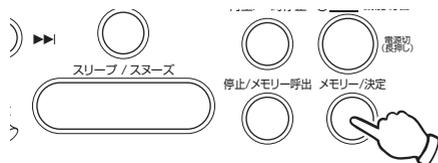


- この手順で約10秒間何も操作が無いと、プログラムは中止され、元の表示に戻ります。

3. 【スキップ/サーチ<<<】または【スキップ/サーチ>>>】ボタンを押して、再生したい曲を選びます。



4. 【メモリー/決定】ボタンを押します。

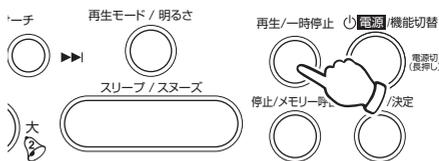


- 1曲目がプログラムされました。
- 「02」が表示され、「— —」、「PROG」が点滅表示されます。

5. 手順3.と4.を繰り返し、再生したい曲をプログラムします。

- 20曲までプログラムできます。

6. プログラム再生を始めるには、【再生/一時停止】ボタンを押します。



- プログラムが終了し、プログラム再生が始まります。
- 【停止/メモリー呼出】ボタンを押すと、プログラムが終了し、停止状態になります。【再生/一時停止】ボタンを押すと、プログラム再生が始まります。
- プログラム再生中でも、一時停止または停止は可能です。
- プログラム再生中に【スキップ/サーチ<<<】または【スキップ/サーチ>>>】ボタンを押すと、プログラムした曲の前または次に移動することができます。
- プログラム再生中に1リピートをおこなうと、再生中の曲の1リピートをおこないます。
- プログラム再生中にオールリピートをおこなうと、プログラムした曲でオールリピートをおこないます。
- プログラム再生中にランダム再生はおこなえません。
- プログラム再生中に停止し、【メモリー/決定】ボタンを押すと、01にプログラムされている曲が点滅表示され、プログラムの変更をおこなうことができます。手順3.と4.を繰り返し、再生したい曲をプログラムしてください。

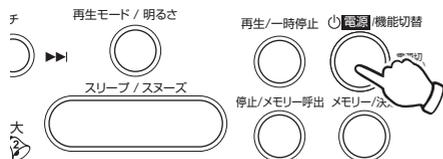
7. プログラムを消去するには、一度【停止/メモリー呼出】ボタンを押して停止し、再度【停止/メモリー呼出】ボタンを押します。

- 機能を切り替える、または電源を切るとプログラムは消去されます。

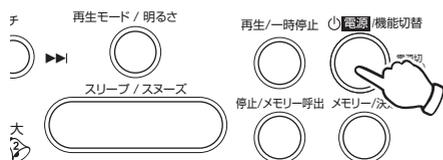
● ラジオの聞き方

本機はワイドFM (FM補完放送)に対応しています。ワイドFM(FM補完放送)とはAM(中波)放送局のエリアにおいて難聴対策や災害対策を目的としてFM放送の90.1～94.9MHz周波数を用いてAM放送をすることです。

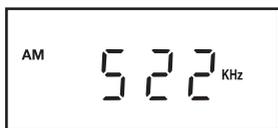
1. 【電源/機能切替】 ボタンを押し、電源を入れます。



2. 【電源/機能切替】 ボタンを何度か押しFMまたはAMを選択します。



FM放送



AM放送

- ワイドFM (FM補完放送)をお聞きになるときは、FMを選択してください。

3. 【スキップ/サーチ<<<】 または 【スキップ/サーチ>>>】 ボタンを押し、聞きたい局に合わせます。



- 【スキップ/サーチ<<<】または【スキップ/サーチ>>>】ボタンを押し続けると、連続して周波数が変わります。
- FM局のステレオ放送を受信すると、STEREOが表示されます。
- FM局をお聞きのとときに、ノイズが多いときは、【再生/一時停止】ボタンを押してください。ノイズが少なくなることがあります。ただし音声はモノラルになります。
- パソコンなどの電子機器が近くにあると、音声にノイズが入ったり、受信できないことがあります。パソコンなどの電子機器からは離してお使いください。

● 受信できる局を探す (サーチ)

受信できる局を自動で探すことができます。

1. FMまたはAMを選択します。

2. 【スキップ/サーチ<<<】 または 【スキップ/サーチ>>>】 ボタンを長押しします。



- ボタンから指を離しても、受信できる局になるまで、自動で周波数が変わります。
- 【スキップ/サーチ<<<】または【スキップ/サーチ>>>】ボタンを押すと、サーチは止まります。

3. 自動で受信できたことを確認します。

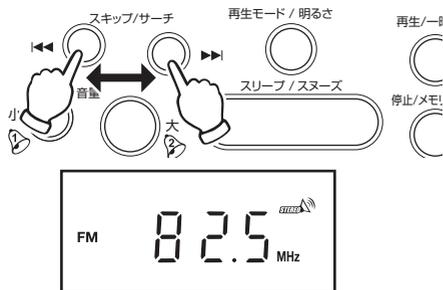


- 電波の状態などにより、サーチをおこなっても受信できないことがあります。

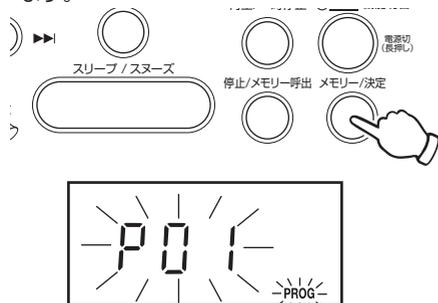
● よく聞く局を登録する (プリセット)

よくお聞きになる局をFM20局、AM20局の計40局まで登録できます。

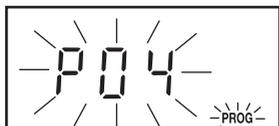
1. FMまたはAMを選択します。
2. [スキップ/サーチ◀◀] または [スキップ/サーチ▶▶] ボタンを押し、登録したい局に合わせます。



3. [メモリー/決定] ボタンを押します。
 - 登録するプリセット番号と「PROG」が点滅します。



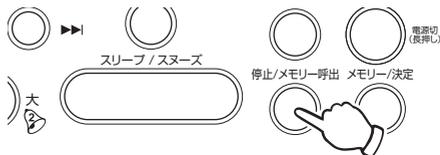
4. [停止/メモリー呼出] ボタンを押し、登録したいプリセット番号にします。



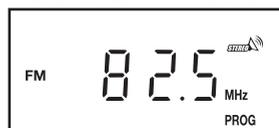
5. [メモリー/決定] ボタンを押します。
 - 元の周波数表示に戻り、「PROG」が表示されます。

● プリセットした局を聞く

1. FMまたはAMを選択します。
2. [停止/メモリー呼出] ボタンを何度か押し、聞きたい局が登録されているプリセット番号にします。

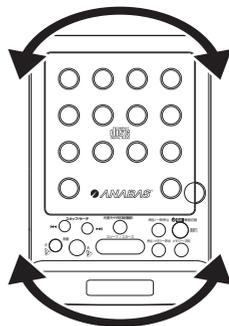


- 登録した周波数と「PROG」が表示されます。

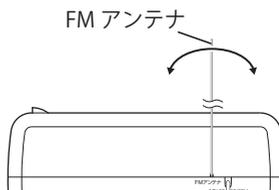


● アンテナを調整する

1. AM局を受信するには、AM局のアンテナは内蔵式ですので、本機の向きを変えます。



2. FM局を受信するには、本機背面のFMアンテナの位置を最も聞き取りやすくなる位置に設置します。



- FMアンテナはパソコンなどの電子機器からは、離して設置してください。

● イヤホン・外部入力端子の使い方

● イヤホンの使い方

お持ちのΦ3.5mmのステレオミニプラグのイヤホンまたはヘッドホンをお使いいただけます。

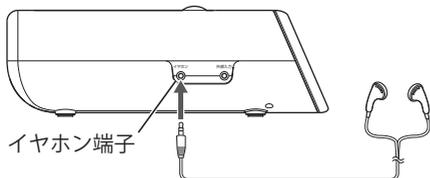
※イヤホンおよびヘッドホンは付属していません。市販のイヤホンまたはヘッドホンをお買い求めください。

1. 【音量 小】 ボタンを押して、音量を最小にします。ます。



※ 音量は徐々に上げてください。特に、イヤホンをお使いのときは、突然大きな音を出して耳を傷めるおそれがあります。

2. イヤホン端子にΦ3.5mmのステレオミニプラグのイヤホンまたはヘッドホンケーブルを接続します。



●イヤホンまたはヘッドホンケーブルが接続されると、スピーカーから音は出なくなります。

3. 【電源/機能切替】 ボタンを何度か押して、再生したい機能を選択します。

4. 【音量 小】 または 【音量 大】 ボタンを押して、聞きやすい音量にします。

● 外部入力端子の使い方

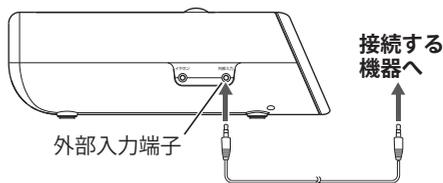
お持ちのΦ3.5mmのステレオケーブルをお使いいただけます。

※Φ3.5mmのステレオケーブルは付属していません。市販のステレオケーブルをお買い求めください。

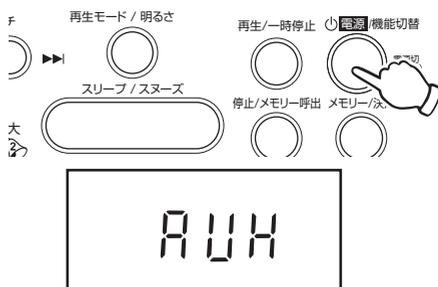
1. 【音量 小】 ボタンを押して、音量を最小にします。ます。



1. 外部入力端子と接続する機器の音声出力端子（イヤホン端子など）を接続します。



2. 【電源/機能切替】 ボタンを何度か押しAUX（外部入力）を選択します。



3. 接続している機器の再生をおこないません。

4. 【音量 小】 または 【音量 大】 ボタンを押して、聞きやすい音量にします。

● お手入れ



- ※ お手入れの前に必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ※ 電源プラグは絶対に水に浸けないでください。

● 本体のお手入れ

- 本機表面は乾いた柔らかい布で、から拭きします。
- 本機表面の汚れがひどい場合のみ、水で濡らした柔らかい布をよく絞ってから丁寧に拭いてください。
- ※ メラミンスポンジなど固いスポンジやたわしは使わないでください。傷の原因になります。
- ※ みがき粉やたわし、ベンジン、シンナー、アルコールなどの溶剤は使わないでください。

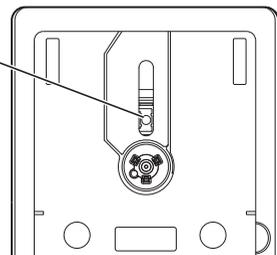
● 電源プラグのお手入れ

- 乾いた柔らかい布で、から拭きします。
- ※ みがき粉、ベンジン、シンナー、アルコールなどの溶剤は使わないでください。

● ピックアップレンズのお手入れ

- CD装着部のピックアップ用レンズが汚れると、音とびが起きたり、時には再生ができなくなります。レンズについた指紋などの汚れは、新しい綿棒でレンズの中心から外側に向かって軽く円を描くように拭き取ってください。

ピックアップ
レンズ



● 故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に一度以下の項目を確認してください。
それでもなお異常があるときは使用を中止して、サポートセンターまでご連絡ください。

症状	ご確認ください
電源が入らない。	●電源プラグをコンセントの奥までしっかりと差し込んでいることをご確認ください。
電源が切れない。	●【 ⓪ 電源/機能切替】ボタンを長押ししていますか。【 ⓪ 電源/機能切替】ボタンを2秒以上押しただままにしてください。
表示が出ない。	●電源プラグをコンセントの奥までしっかりと差し込んでいることをご確認ください。
音声が聞こえない。	●音量は適切に調整されていますか。音量を調整してください。 ●受信周波数は合っていますか。また、AM/FMは正しく選択されていますか。【スキップ/サーチ◀◀】または【スキップ/サーチ▶▶】ボタンを押してお聴きになりたい放送局に周波数を合わせてください。
スピーカーから音声が聞こえない。	●イヤホンまたはヘッドホンがイヤホン接続端子に接続されていませんか。イヤホンまたはヘッドホンが接続されるとスピーカーから音声は出ません。
CDが再生されない。CD再生の音 が飛ぶ。CD再生の音質が悪い。	●CDが正しく装着されているかご確認ください。CDが汚れている場合は、クリーニングするか、別のCDで試してみてください。 ●ピックアップレンズが汚れている場合は、クリーニングしてみてください。 ●一時停止状態になっていないかご確認ください。
時刻表示が00:00に戻る。	●時計バックアップメモリ用電池が切れている、または入っていない状態で、電源コードを抜きましたか。時計バックアップメモリ用電池が切れている、または入っていない状態で、電源コードが抜かれると初期状態に戻り、時刻は00:00に戻ります。
登録(プリセット)した局が表示され ない。	●時計バックアップメモリ用電池が切れている、または入っていない状態で、電源コードを抜きましたか。時計バックアップメモリ用電池が切れている、または入っていない状態で、電源コードが抜かれると初期状態に戻り、登録(プリセット)した局は消去されます。
アラームが設定できない。	●時刻は設定されていますか。時刻が設定されていないと、アラームを設定することはできません。
アラームが何度も起動する。	●【SNOOZE】が点滅表示していませんか。アラームが起動しているときに、【スリープ/スヌーズ】ボタンを押すとスヌーズ状態になり、9分経過すると、再度アラームが起動します。スヌーズ状態を解除するには、アラームを設定した【音量 小 🔊] または【音量 大 🔊] ボタンを押してください。
ラジオの音質が悪い。	●近くにパソコンなどの電子機器はありませんか。電子機器の影響でラジオの音質が悪くなる場合があります。 ●アンテナの向きは正しいですか。AM放送用のアンテナは内蔵されていますので、AM放送をお聞きの場合は、本機の向きを変えてください。FM放送をお聞きの場合は、本機背面のFMアンテナの位置を変えてください。

仕様

品名	CDクロックラジオ
型名	CD-RC150
電源	AC 100 V 50/60 Hz
時計メモリ用電池	単3形乾電池×2本 ※乾電池は別売り
消費電力	12 W (待機時* 1.6 W) (※時計表示時、バックライト点灯中)
実用最大出力	0.8 W+0.8 W: 総合 1.6W
CD再生可能ディスク	音楽CD、CD-R、CD-RW(CD-DAフォーマットで記録されたディスク) ※MP3/WMA/WMVなどの圧縮されたファイルは再生できません。
受信周波数	FM 76.0 ~ 108MHz / AM 522 ~ 1629kHz
外形寸法	約 160 (幅) × 236.5 (奥行き) × 80.5 (高さ) mm (突起部含まず)
質量	約 0.95kg
付属品	取扱説明書 (保証書付き: 本書)

※本機の外観および仕様は改善のため予告なく変更することがあります。この商品は、日本国内用に設計、販売しております。電源電圧や周波数の異なる国では使用できません。海外での修理や部品販売などのアフターサービスは対象外となります。

● 保証とアフターサービス

● 保証書

- 保証書は、本書に添付されています。
- 保証書は、必ず「お買い上げ日、販売店名」などの記入内容をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

● 補修用性能部品の保有期間

- 本機の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後6年間です。
- 補修用性能部品とは、その商品の性能を維持するために必要な部品です。
- 消耗部品のご注文などについては販売店または弊社にご相談ください。

● 部品について

- 修理のために取り外した部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
- 修理の際には、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

● 修理を依頼されるときは・・・持ち込み修理

- 「故障かな?と思ったら」に従って調べていただき、なお異常があるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店または弊社にご連絡ください。
- 本機は国内専用です。国外での使用に対するサービスは対応できかねますので、ご了承ください。

● 保証期間中は

- 保証書の規定に従って、販売店または弊社にて修理させていただきます。
なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

● 保証期間が過ぎているときは

- 保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店または弊社にご相談ください。
修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。
- 消耗品のご注文は販売店または弊社にご相談ください。

● アフターサービスについて

アフターサービスについてご不明な場合は、本書に記載のお買い上げの販売店または弊社にお問い合わせください。

持ち込みまたは送付先

株式会社太知ホールディングス
サービスセンター

〒110-0005

東京都台東区上野3丁目2番4号秋葉原村上ビル3階

☎03-5846-7211

メールでのお問い合わせ

E-mail :

taichitky@anabas.co.jp

ホームページ :

http://www.anabas.co.jp

電話でのお問い合わせ

☎03-5846-7211

受付時間

月～金 午前10時～午後5時30分

(土・日・祝祭日・年末年始を除く)

● 個人情報の取り扱いについて

- 株式会社太知ホールディングスは、お客様の個人情報やご相談内容をご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。

● 補修修理の仕組み

修理料金は技術料・部品代などで構成されています。

技 術 料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部 品 代	修理に使用した部品代金です。

愛情点検



このような
症状はあり
ませんか?

長年ご使用の機器の点検を!

- 電源コード、プラグが異常に熱い。
- 電源コード、プラグに傷が付いていたり、触れると通電しなかったりする。
- 焦げくさい臭いがする。
- 本体がいつもより異常に熱い。
- その他異常や故障がある。

このような症状の時は、使用を中止し、故障や事故の防止のため必ず販売店に点検をご相談ください。

株式会社 太知ホールディングス
TAICHI HOLDINGS LIMITED
<http://www.anabas.co.jp>

〒110-0005 東京都台東区上野3丁目2番4号 秋葉原村上ビル3階
お問い合わせ先: 電話03-5846-7211 FAX 03-5846-6639